

留学生専門就職情報誌

**IFSA**

# 外国人留学生のための 企業研究特集号 2017

GUIDEBOOK FOR FOREIGN STUDENTS FINDING A JOB



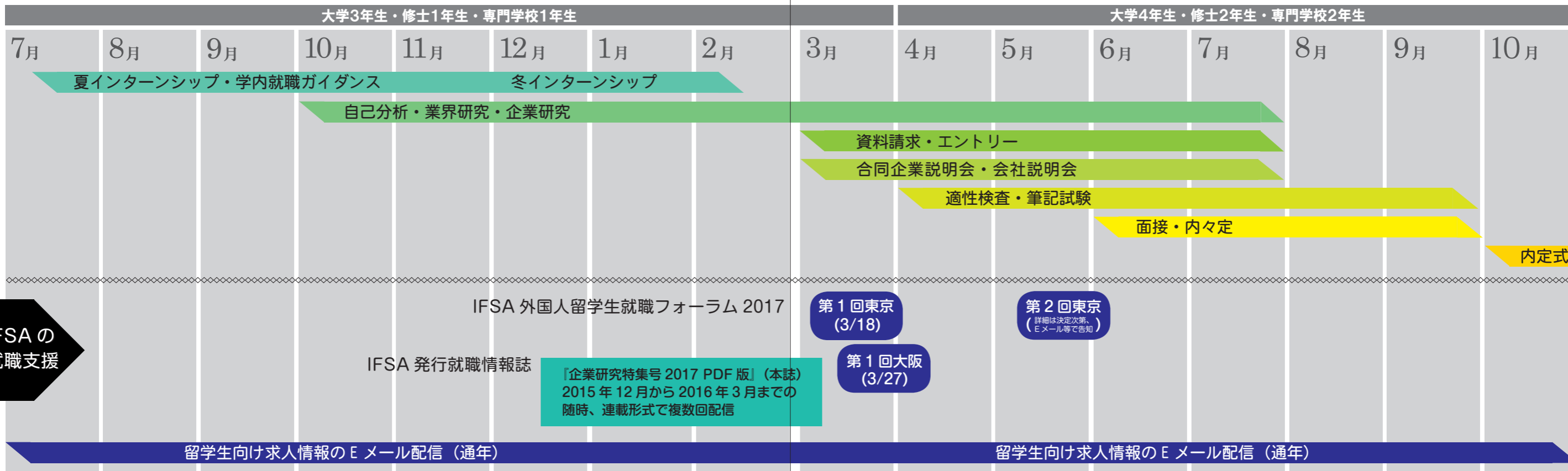
- 就職活動の進め方
- 先輩・採用担当者からのアドバイス
- 就職活動豆知識
- 在留資格相談室



特定非営利活動法人 国際留学生協会  
IFSA 就職支援情報サービス

# 就職活動のスケジュール in Japan

## ▼日本の就職活動のスケジュール(2017年卒採用)



IFSAの就職支援

※一般的なスケジュールです。通年で募集をしたり、3月以前から募集を始める企業もあります。特に外資系企業や、金融など特定の業界の企業では採用スケジュールが以下と異なる場合も多いです。気になる業界や企業の募集情報はこまめにチェックしましょう。

## 就職活動を始める前に

これだけは  
おさえておきたい

### 1. まず日本の就職活動・日本企業の特徴を知ることが大事

日本の就職活動はとても独特だと言われています。日本での就職活動を成功させるには、日本独自の採用のあり方や、日本企業の特徴についてよく知った上で就職活動を始めることが不可欠です。

「日本で働く」ってどういうこと？「日本企業」の特徴って？  
なぜ日本の就職活動はこんなに早く始まるの？  
なぜ日本の就職活動はこんなに長い時間をかけて行われるの？  
なぜ日本企業は日本語力・コミュニケーション力を重視するの？



#### ◆「新卒一括採用」

日本では特定の時期に一気に採用活動が行われます。多くの企業がまとまった人数の新卒学生を採用するスタイルは日本独自のものです。通年で新卒を募集する企業もありますが、多くの企業は一定の採用期間を設けているため、この時期を逃すと応募のチャンスがなくなってしまうこともあります。

#### ◆「ポテンシャル採用」

日本の新卒採用はよく「ポテンシャル採用」だと言われます。「ポテンシャル」とは、入社後の成長の伸びしろ・活躍の可能性を指します。選考ではこの「ポテンシャル」を判断するために、何度も面接を行ってこれまでの経験とそこから学んだことなどを問われます。

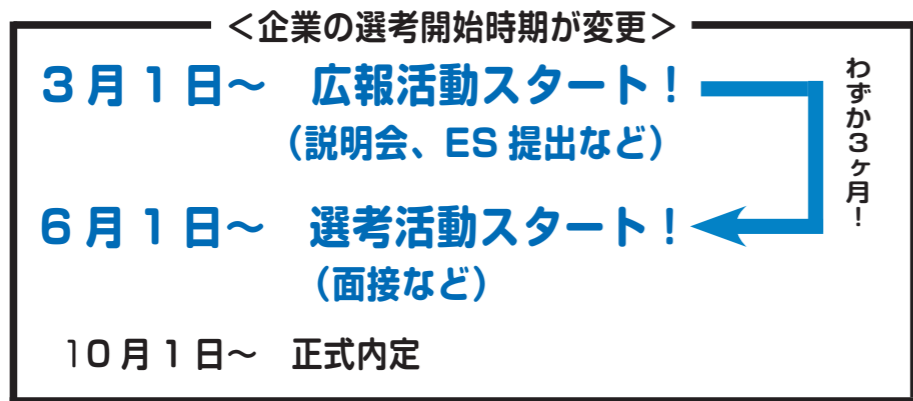
#### ◆「終身雇用」

同一の企業で定年まで雇用され続けることを「終身雇用」と言います。日本企業が「新卒」の採用にこだわるのは、多くの日本企業が、時間をかけて一からその企業の文化・技術などを教えながら社員を「育てていく」習慣があるからです。

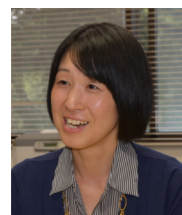
## CHECK!! ~日本(日本企業)で働くということ~

- 日本企業には自社の文化や技術を社員に一から教育して育てる風土がある  
⇒「新卒」という、過去の職歴等にとらわれないポテンシャルの高い人を求め、新卒一括採用を行う。  
⇒新卒採用においては企業の社風・考え方に合っているかを見極めるため、複数回の面接や選考試験を通し、人物重視の採用が行われる。
- 日本企業には「チームワーク」と「協調性」を重んじる文化がある  
⇒日本企業では個人で仕事をして成果を上げるより、チームで協力し合いながら仕事を進め、成果を出すことを重んじる。そのため、個人の能力の高さ以上に、より全体の発展を考え、協力し合えることや成果を出していく過程そのものも重要視されている。
- 日本企業ではチームでコミュニケーションをとりながら仕事を進めていくのが一般的であるため、日本語力はもちろんのこと、「コミュニケーション力」の高さを重視する企業が多い  
⇒「グローバル化」が叫ばれている昨今の状況だが、実際の業務は基本的に日本語で行われる。したがって、外国人留学生を積極的に採用する企業でも日本語ができることを大前提として採用する、というスタンスの企業が多い。日本企業での就職を目指すなら一定レベルの日本語力は必須である。  
また、単に日本語が「話せる」ことが重要ではなく、日本語を使って「相手の言うことを理解し、自分の言いたいことを伝えることができる」こと、すなわち「コミュニケーションがとれること」が重要である。  
\*一般的な日本企業の傾向です。日本企業の多くは留学生を日本人と同じ選考基準で選考するため、応募条件に日本語力を課す企業が多いですが、留学生に特化した採用を行っている企業や一部の企業の中には日本語力をそこまで重要視しない企業もあります。

## 2. 変わる！ 2017年卒の就職活動



一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）が2015年12月7日、経団連加盟企業の採用活動に関するガイドライン「採用選考に関する指針」を改定した。その結果、企業の広報活動期間が前年より2ヶ月短縮された。企業説明会、エントリーシートの提出、WEB試験などが前年より短期間で実施されることになる。



一橋大学  
キャリア支援室  
特任講師 三浦美樹氏

企業の広報期間が短くなる分、自己分析や企業・業界研究といった就職活動の土台固めに早く取り組むことが必要。外国人留学生は日本人学生よりも就職活動のコツをつかむのに時間がかかってしまうことが多い。自分の力だけでは限界があるので、プライドや遠慮にとらわれず友人や先輩、キャリアセンターなど周りの人たちに協力してもらおう！

### CHECK !!

- ◎就職活動が本格的に始まる3月までに、キャリアセンターなどが主催する就職活動準備イベントに積極的に参加しよう！
- ◎短い広報活動期間中に就職活動関連のイベントが目白押しに。しっかりスケジュールを管理しよう！

## 3. 外国人留学生の日本での就職活動のポイント

ズバリ！！  
日本企業は  
こういう学生を  
求めている！！

- ・全体的にバランスのとれた人（能力、人柄、コミュニケーション力）
- ・チームワークができる人（＝周りや協力して仕事を進めることができる人）
- ・意思疎通をする上で支障がない日本語力
- ・何か困難なことを乗り越えた経験があり、そこから学んだことを活かせる人
- ・自社への強いこだわり（応募意欲）のある人



留学生が  
陥りがちな  
落とし穴

- ・個人としていい成績をおさめたことのみをPRする
- ・日本語力や母国語能力、異文化理解能力を強調しすぎる
- ・「何でもやります」という漠然とした志望動機やPR
- ・グローバル展開しているか、母国に拠点があるかだけで応募企業を選ぶ
- ・応募する企業の事業内容・仕事内容に一貫性がない

### CHECK!!

- ◎競争相手は同じ外国人留学生だけでなく日本人学生、そして時には海外現地にいる外国人まで含まれます。
- ◎企業はあなたを「外国人留学生」としてではなく、「一個人として」見ています！
- ◎早期内定獲得のためには自分なりの軸（こだわり、重要視する点）を持つことが重要です！
- ◎語学力以外のPRポイントを持ちましょう！
- ◎常に「企業が何を求めているか」「自分は企業に対して何ができるか（貢献できるか）」を考えましょう！
- ◎失敗を恐れず、自分の思いや熱意が企業に「伝わる」ことを目指しましょう！

## 就職活動の進め方

### 1 自己分析

#### ◆「自己分析」とは

就職活動を始める前に、これまでの経験を振り返り、自分の就職における希望や適性を考えること。自分を知ることで自分に合う仕事や会社を探すことができる。



何がしたいのか明確ではなく、軸がぶれている人と企業と一緒に働きたいとは思いません。日々の学生生活の中で考えて、行動することが重要です。考え、自己分析が出来る学生は、エントリーシートや面接がどんどん上達していきます。

#### ◆「自己分析」の結果

- ・これまでの経験を振り返り、どんな目標の下にどんな活動をし、そこから何を学んだのかを自分なりに整理できている
- ・就職活動における自分の軸（重視すること）を見つける
- ・企業にPRできる自分の強みを見つける



国際基督教大学  
就職相談グループ長  
稲田聡氏

### CHECK!!

企業は「その人が自分の会社にあっているか」を確認し採用します。そのため、その会社が求める人材像に自分が適していることをPRし続ける必要があります。自分の価値観・行動特性・強みを知ることが適切な自己PRをするための第一歩です。

#### 採用担当者からのアドバイス

自分を知ることと企業を知ることの両方が必要です。自分自身のことをよく考え心の準備をし、妥協せず、本当に自分に合う会社に出会っていただきたいです。（広告）

まず自分はなぜ就職をするのか、そこをじっくり考えてほしいです。迷いがある状態で面接を受けても、いい結果には結びつかないでしょう。（総合電機）

ご本人が人生の中でどのような目的を持ち、どのような苦勞をして壁を乗り越えてきたのかという点に注目します。留学した時の動機や、学生時代の過ごし方、なぜ日本で働きたいのか等をわかりやすく伝えていただきたいです。そのために自己分析は大事です。（IT・通信）

#### 先輩からのアドバイス

自己分析は、就職活動をしながらいよいよ深まっていく面もあります。私は進学と就職で迷っていましたが、いくつか会社の説明会に参加する中で、社会に出て働きたいという気持ちが固まりました。知人は逆に、もっと語学力や専門性を身につけた方が、就職活動で自分が活躍できる可能性が広まると感じ、進学を決めました。自分で行動し、自分のビジョンをしっかりと固める必要があります。（韓国／女性）

普段から日本人学生と交流し、情報交換しておく必要があると感じました。留学生同士のコミュニティの中だけでは、日本の就職活動に乗り遅れてしまいます。（ベトナム／女性）

## 2 業界研究・職種研究・企業研究

### 1. 業界研究

IT・通信 コンサルティング マスコミ サービス 医療・福祉・介護 メーカー 教育  
 広告・出版・印刷 建築・土木 商社 金融 流通・小売 運輸・物流・倉庫 ほか

#### ◆業界研究が重要な理由

- ①業界の動向や将来性を知り、自分の興味のある分野を絞ることができる。
- ②選考では「業界を知っている度合い」=「会社の志望度」として見られる。業界研究をしっかりすることで会社の志望度を強くPRすることができる。

### 2. 職種研究

営業 人事 マーケティング 財務・経理 広報 総務 企画 コンサルタント  
 システム開発系 メカトロ関連技術系 品質管理・生産管理 研究開発 施工管理 ほか

一つの業種に複数の職種があります。業界について知った上で、どんな職種があり、どんな仕事をするのかを把握しましょう。営業系、事務系、技術系、専門職などさまざまな職種がありますが、中には文理不問で幅広く募集している企業もありますので、募集対象とあわせてチェックしましょう。

### 3. 企業研究

何を重視して志望企業を見つけるか、ポイントを絞って自分に合った企業を探していきましょう。  
 ・留学生採用のスタンス、採用方針（日本人と同じ募集枠なのか、留学生枠があるのか など）  
 ・経営理念、ビジョン、求める人材像等で共感できること・あてはまるものがあること  
 ・自分ができることや専門知識が生かせるかどうか、など



早稲田大学  
キャリアセンター  
課長 白井由美氏

日本の産業界を分析すると3つの特徴があります。それは、①ありとあらゆる業界が存在している、②ひとつの業界に多数の有力企業がひしめいている、③優れた製品を作り続ける文化が受け継がれていることです。日本は**6割がモノ作り企業**です。その製造業には全ての業種が存在しており、かつ多数の企業がひしめきあう世界でも極めて稀な国なのです。さらに、**最先端の技術や世界トップクラスのシェアを占める商品を持つ中小企業が多数あることが日本の強み**です。

企業研究・業界研究で一番大事なのは、「**実際に働いている人の話をどれだけ聞けるか**」です。実際の仕事のことを知らないと最終的にその会社を選ぶ自分なりの理由が言えません。Face to Faceで話をしてみても「**その仕事を自分がやりたい**」と思えるかどうかなのです。企業研究・業界研究は「働きたい」と思った企業への「本気度」「熱意」を伝えるために重要です。



中央大学  
キャリアセンター  
キャリア支援課  
副課長 北澤竜一氏

#### 先輩からのアドバイス

自分の専門分野と合致した仕事にこだわりすぎると、応募できる企業に限られてしまいます。また、内定がもらえても、会社のニーズは日々変動するので、入社後100%自分がしたい仕事をさせてくれるという保証もありません。社員を育てて、適した分野で活躍させたいという日本企業の考え方を理解して、広い視野と柔軟な考えを持って、就職活動に取り組んでほしいと思います。（ラオス/男性）

## 3 応募（エントリー）

### ◆エントリーシート・履歴書

採用選考の第一関門ともいえるものです。誤字脱字がないように丁寧に作成し、必ず日本人の知人にチェックしてもらいましょう。以後の面接にも大きく役立つので、よく考え、表現を工夫して作成して下さい。

「自己PR」の項目は、抽象的な表現に終わらないように、体験談やそこから得たこと、人からの評価、実績など具体的な事例を挙げて記述すると、説得力のある文章になります。



立命館大学  
キャリアセンター次長  
松原修氏

「自分がその企業でどういった役割を果たしたいのか」「企業活動を通じてどのように社会と関わるのか」という点をしっかり書かないと企業の目に留まりません。また、応募企業先のホームページの内容を、志望理由に**コピー&ペーストすることは絶対にダメ**です。自分独自の経験・ビジョンを盛り込むべきです。「**自分の言葉でしっかり書けていることが非常に大事**」だからです。

### CHECK!! ~エントリーシートの書き方~

#### <志望動機の書き方>

「なぜこの企業でなければならないか」が伝わるように、その会社ならではの事業内容・業務内容などを研究し、それを自分の興味・強みと合わせて書く。  
 NG例)

- ×「母国に拠点があるから」「グローバル展開しているから」というようなほかの会社にもあてはまりそうな漠然とした内容
- ×業界に対する漠然とした憧れ
- ×どんな仕事がしたいのかが明確になっていない

#### <自己PRの書き方>

- ①結論（自分の強み）を述べる
- ②結論の裏づけとなるエピソードを述べる
- ③企業の求める人材像をふまえた上で、これまでの経験・強みが仕事でどう活かせるかを述べる

## 4 筆記試験・WEBテスト

多くの留学生が苦戦するのが筆記試験です。限られた時間の中で、早く正確に答える必要があります。出題傾向や時間配分を理解するため、練習問題をたくさんこなして慣れておく必要があります。適性検査（SPI等）、一般常識テスト、作文等さまざまな種類があるので、志望する企業に必要な試験を調べて十分な対策をしましょう。

### <筆記試験の種類と対策>

	内容	対策等
適性検査	SPI3 や CAB などが多く使われている。「能力適性検査」と「性格適性検査」とがある。	問題集を買って、問題の傾向や時間内に回答することに慣れておく。
一般常識試験	国語、数学、英語、理科、社会、時事問題などの様々な分野から出題される。社会人としての一般常識を備えているかが問われる内容。	問題集を買って、問題の傾向や時間内に回答することに慣れておく。時事問題は、普段から新聞やニュースを見て見聞を広めておく。
小論文・作文	指定されたテーマについて、制限時間内に、決められた文字数で論作文を作成する。自分の考えを文章で論理的に表現することができるかが問われる。	起承転結、時間配分・文字数などに気を付けて作成する。手書きの場合が多いため、日頃から日本語で文書を書くことに慣れておく。

#### 採用担当者からのアドバイス

素直に自らの想いを自分の言葉で語ってください。私たちは、就職活動のテクニックなどの表面的な部分は見ておらず、あなたが内側にもっている「自分の考え」を知りたいと思っています。同時に、あなたが当社を選んでいることも認識しています。お互いに理解し合うことが大切です。就職活動は、どこかの会社で自分を選んでもらう活動ではなく、自らが入社する会社を選ぶ活動ですから、積極的に取り組んでいただければと思います。（電気機器）

## 5 面接

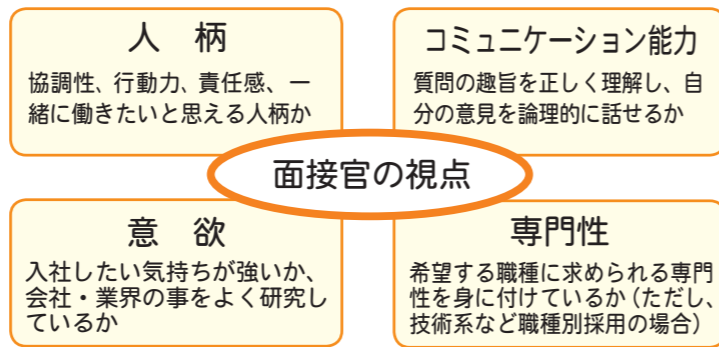
留学生は慣れない筆記試験で不利な立場に立つ可能性があります。だからこそ、面接では自分のことを最大限にPRできるように、よく準備をして臨んで下さい。

自己PR、志望動機、将来の目標などは、いつでもしっかり言えるように準備しておきましょう。

日本人の知人に模擬面接をしてもらおうと良いです。面接官の質問を想定して受け答えの練習をしておけば、本番で落ち着いて自信を持って話すことができます。

### <面接の形式>

個人面接	受験者1名に対して、1名または複数名の面接官が面接を行う。
集団面接	受験者複数人に対して、1名または複数名の面接官が面接を行う。
グループディスカッション	学生数名で、決められたテーマについて議論し、面接官がその様子を見て評価する。



### CHECK!! ~面接で見られるコミュニケーション力~

「コミュニケーション力」は「日本語力」のみを指すではありません。面接官は質問の受け答えを通して、人柄や志望度合い、能力や適性を見ています。一方的にPRするのではなく、質問の意図を正しく理解し、質問内容に沿って回答することが重要です。

### 採用担当者からのアドバイス

- ・なぜ日本での就職を希望するのですか？  
→「日本に留学した経験を活かしたいため」
- ・なぜ当社を志望するのですか？  
→母国に拠点があるため、母国と関わる事業をしているため

以上のような志望動機をよく耳にしますが、これだけでは志望動機が弱く、意欲をあまり感じません。何を求めて日本で働きたいのか、数ある企業の中からなぜこの会社を志望するのかを、理論的に、かつ熱意が伝わるようにPRして下さい。(サービス業)

例えば、「私は努力家です」といった抽象的な自己PRではなく、なぜ努力家だと言えるのかを伝えてほしいと思っています。自己PRできる経験がないと感じ、参考書に書いてあったものや他人を真似することは避けてほしいです。立派な体験だけが良いのではなく、小さいことでも構いませんので、自らの体験に根差して自分の言葉でお話いただくことが大切です。実際に努力してきた過程は面接官の心にしっかり伝わります。(食品メーカー)

面接をしながら、その学生が入社後どのように活躍してくれるのかをイメージします。総合的に見て「一緒に働きたい、会社の力になってくれそう」と思えるかどうかを重視します。ご自身がどのような分野で活躍できる・活躍したいのかをアピールして下さい。(商社)

「日本で働きたい」「何でも頑張ります」という留学生のPRをたまに見かけます。やる気は感じますが、「言われたことを何でもする」人よりも「自ら考え、提案し会社を新しい方向に引っ張っていきける人」を求めています。(機械部品メーカー)

「日本企業で働く」ということだけを志望動機にするのではなく、その会社で自分は何がしたいのかを考えてほしいと思います。大切なのは就職した後、日本企業から何を学ぶかということだと思います。それを実現するためにも、是非入社後のことについてももう一歩深くイメージした上で面接に進んでいただきたいと思っています。(小売業)

### 先輩からのアドバイス

日本での就職活動は、お金、体力、精神力、時間がかかることを覚悟しておいたほうが良いと思います。(ベトナム/男性)

日本語能力は必須です。アルバイトをするにも、多少賃金が安くても、将来のためには日本語が上達するようなアルバイトを選ぶことをおすすめします。(中国/男性)

日本企業の面接では自分の意見をしっかり述べることで周囲への気遣いができるかという両面を見られます。日本企業には少し能力が低くても周囲とうまくやっていけて長く働ける協調性のある人を採用する傾向があります。実際にその企業がどういうタイプの人を好むか把握しておいたほうが就職活動には有利です。(中国/女性)

就職活動イコール情報戦です。学校・WEB・先輩などあらゆるツールを通して情報を集めます。その次に大事なのは多く受けること、つまり体力戦です。「新卒」として就職活動ができる期間は限られています。後悔しないように、関心のある会社なら1社でも多く受けるようにした方が良いでしょう。(中国/男性)

あまり外国人という意識を持たない方が良いでしょう。日本で働く上で、「外国人ならではの仕事」だけをするのはほとんどありません。「外国人ならではの仕事」しかできないと、会社の方針が変わり、その分野の事業をやめた時には仕事を失ってしまいます。日本人がする仕事を同等に行い、プラスα自分自身のオリジナリティ・強みが必要です。(中国/女性)

真剣に就職活動を行うことが大事だと思います。面接では毎回毎回本気で臨みました。面接官は何百、何千人もの学生に会っているのだから、学生がどれほど真剣な気持ちかかかるとは思いますし、本気さは伝わるはずですよ。(中国/男性)

外国人留学生は言語の壁がありますが、「自分は外国人だから」と甘えてはいけません。昨今日本人学生にとっても就職が厳しい時代ですが、逆に苦勞できるチャンスだと思います。日本人と同じ土俵でやるという気持ちでなければ成功は難しいでしょう。就職活動は絶対に経験するべきだと思います。業界研究等を通して日本社会を知るだけでなく、数年間にわたる留学生活の努力が就職活動に凝縮して発揮されるからです。(中国/男性)

進路を迷っていても、就職に関する情報収集は早めにしておいた方が良いでしょう。時期が遅くなると企業が応募を締め切ってしまうため、選択肢が狭くなってしまいます。(タイ/男性)

就職活動は自分を見つめなおす貴重な機会でもあるので、どんどん考えて悩んで良いと思います。その際に一人で悩むとストレスになりますので、友達と話して自分がどんな人なのか聞いてみたり、OB・OG訪問をしてみることで、たとえ志望動機がはっきりしていない状態でも、人の話を聞く中で、ヒントが得られるかもしれません。とにかく行動に移すべきです。(中国/女性)

TOEICや日本語能力試験など、資格試験は積極的に取得しておいた方が良いでしょう。まずは履歴書やエントリーシートで判断されますから、文字で表せる自分をPRできる材料が必要です。(韓国/女性)

社会では日本語を話せるだけでは誰も必要としてくれません。留学生は母国語と日本語を話せるのは当然ですから、それ以外にプラスαの何かを持つ必要があり、そのために目標を立てて卒業までに何ができるのか考えなくてはなりません。日本人と積極的にコミュニケーションをとってきた留学生は採用されやすくなると思います。(中国/女性)

ローマに行ったらローマ人にならないといけません。日本企業に就職したいのであれば、日本の就職活動についてよく研究する必要があります。(トルコ/男性)

私は、半年かけて筆記試験や面接について研究しました。一つの面接には4時間くらいかけて準備し、質問を想定して、答えを5パターンくらい準備しました。お金をためてから、アルバイトは半年間やめて、就職活動に専念しました。日本人と対等に勝負する気持ちで取り組んでほしいです。(中国/男性)

企業説明会には一人で行くのではなく、友人と行くモチベーションも維持できます。私も留学生や日本人学生と共に行動し、同じ企業に応募した友人とは面接のアドバイスをし合うなど励まし合いながら、就職活動を行いました。そして、有名企業だけに限定せず、関心の幅を広げ、多様な業界にチャレンジすることが大事だと思います。(インドネシア/男性)

## 就職活動豆知識

### <外国人留学生の配属・キャリアパス例>

配属	仕事内容・キャリアパス	待遇・その他
日本人採用	日本配属	日本人社員と同じ配属。在留資格の範囲内での仕事が基本。 基本的には日本人と同じ待遇。 ・必ずしも母国と関わりのある仕事をできるとは限らない。 ・日本法人社員として、海外（母国・その他の国）に出張する機会がある場合もある。
	日本で配属後、海外現地法人に出向・転籍	日本で数年間経験を積んだ後、海外現地法人（母国の場合が多い）に出向・転籍する。現地の幹部候補としての活躍を期待されている場合が多い。 日本での勤務期間中は、日本人と同じ待遇。海外現地法人に配属後の待遇は、現地の制度に準ずる待遇に変わる場合が多い。 ・数年日本で働いてから帰国したい方向向いている。 ・必ずしも希望のタイミングで帰国できるとは限らない。 ・会社によっては、日本法人社員として、現地法人に出向する場合もある。（待遇は日本法人基準）
海外現地法人採用	すぐに海外現地法人勤務となる。基本的には現地法人の制度に従って働く。日本と現地をつなぐブリッジ人材としての業務を担う場合もある。	基本的には海外現地法人の制度に従った給与・待遇となる。 ・資格・語学力等によって+αの手当がつく場合もある。 ・すぐに帰国したい方向向いている。

### <賃金の構成一例>

賃金	基準内賃金 (固定的な賃金)	基本給、職能給、勤続給 等 諸手当（役職手当、住宅手当、通勤手当 等）	+	賞与
	基準外賃金	休日手当、時間外手当、深夜手当 等		

## 留学生の就職活動チェックポイント

### ◎まずは、この項目を確認しておこう。

#### [スタート前に]

- 日本企業の採用のやり方は**母国とは違います**。
- 多くの日本企業は、**高い日本語能力**を求めています。
- 日本企業は**異文化を背景にした企業**です。
- 日本での就職活動は、**期間が長く、試験回数が多くなります**。また、**多数の企業に応募することが必要**です。



#### [迷った時に]

- 就職活動をする上で、自分で考え判断するための「**軸**」は何ですか。
- 日本企業で働きたいと思った**動機**は何ですか。
- なぜ〇〇業界の〇〇会社を志望するのですか**。
- 〇〇会社で**どのようなことをやりたいのですか**。

## 就職等に関する相談窓口

### 外国人雇用サービスセンター

- 東京外国人雇用サービスセンター <http://tokyo-foreigner.jsite.mhlw.go.jp/>  
【TEL】03-5339-8625 【住所】〒163-0721 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル21階  
【ご利用時間】8:30～17:15（土・日・祝日及び年末年始は休み） ※2016年4月1日から10:00～18:00
- 新宿外国人雇用支援・指導センター  
【TEL】03-3204-8609 【住所】〒160-8489 東京都新宿区歌舞伎町2-42-10 ハローワーク新宿（歌舞伎町庁舎）1階  
【ご利用時間】8:30～17:15（土・日・祝日及び年末年始は休み）
- 大阪外国人雇用サービスセンター <http://osaka-foreigner.jsite.mhlw.go.jp/>  
【TEL】06-7709-9465 【住所】〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル16階  
【ご利用時間】10:00～18:00（土・日・祝日及び年末年始は休み）
- 名古屋外国人雇用サービスセンター <http://aichi-foreigner.jsite.mhlw.go.jp/>  
【TEL】052-264-1901 【住所】〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル12階  
【ご利用時間】9:30～18:00（土・日・祝日及び年末年始は休み）

### 東京都労働相談情報センター

労働問題全般にわたり相談に応じています。相談には電話での相談と、当センターに来所していただいて面談方式で行う相談とがあります。

- 【電話労働相談専用ダイヤル】0570-00-6110 【URL】<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/soudan-c/center/index.html>
- 【ご利用時間】平日9:00～20:00（相談終了時間）、土曜日9:00～17:00（日・祝日及び年末年始は休み）
- 【来所相談予約電話】 飯田橋【TEL】03-3265-6110 大崎【TEL】03-3495-6110 池袋【TEL】03-5954-6110  
亀戸【TEL】03-3637-6110 国分寺【TEL】042-321-6110 八王子【TEL】042-645-6110

### ワンストップ型相談センター

入国管理手続等の行政手続、生活に関する相談及び情報提供を行うための相談センターです。英語、中国語等でも対応しています。

- 外国人総合相談支援センター 東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康センター「ハイジア」11階 【TEL】03-3202-5535
- 外国人総合相談センター埼玉 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階 【TEL】048-833-3296
- 浜松外国人総合支援ワンストップセンター 静岡県浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階 【TEL】053-458-2170

### 外国人在留総合 インフォメーションセンター

入国手続や在留手続等に関する各種相談窓口。電話や訪問、メールでの相談を受付。外国語（英語、韓国語、中国語、スペイン語等）で対応可。

- 【E-mail】[info-tokyo@immi-moj.go.jp](mailto:info-tokyo@immi-moj.go.jp) 【TEL】0570-013904（IP、PHS、海外：03-5796-7112）
- 【URL】<http://www.immi-moj.go.jp/info/index.html> 【受付時間】平日8:30～17:15

### 法務省入国管理局

在留資格変更許可申請は、原則として外国人本人が最寄りの入国管理局や出張所に出向いて行います。

- 入国管理局の各地方分局 【URL】<http://www.immi-moj.go.jp/soshiki/index.html>
- 札幌 北海道札幌市中央区大通り西12丁目 札幌第三合同庁舎
- 仙台 宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-20 仙台第二法務合同庁舎
- 東京 東京都港区港南5-5-30
- 横浜 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町10-7
- 名古屋 愛知県名古屋市中区正保町5-18
- 大阪 大阪府大阪市住之江区南港北1-29-53
- 広島 広島県広島市中区上八丁堀2-31 広島法務総合庁舎内
- 高松 香川県高松市丸の内1-1 高松法務合同庁舎
- 福岡 福岡県福岡市博多区下臼井778-1
- 福岡空港国内線第3ターミナルビル



## Q 日本で働くための在留資格(ビザ)について教えてください。

働くための在留資格は、「教授」「高度専門職」「技術・人文知識・国際業務」「研究」「技能」「経営・管理」「企業内転勤」など18種類あります。このうち、留学生が日本で就職するために申請することになるのは「技術・人文知識・国際業務」がほとんどで、そのほか「教授」や「経営・管理」等を申請する方もいます。

### 「技術・人文知識・国際業務」の在留資格について

「技術・人文知識・国際業務」は「技術」と「人文知識」「国際業務」の3つに分類できます。今までは「技術」が別になっていましたが、業務内容の多様化で、技術系業務なのか文科系なのかの判断が難しい場合もあることから、この2つの在留資格を1つにまとめられました。しかし、求められる条件は今までと変更がありません。

#### (1)「技術」

「技術」の資格は、大学や専門学校で勉強した技術や知識が必要な仕事につくときに必要な資格です。また大学等を卒業してなくても、これからの仕事と関係のある技術系の仕事を10年以上行ってきた人は対象になります。給料は日本人と同じかそれ以上です。

I T技術者の国家試験に合格して、その仕事をする人にも「技術」の資格が許可されます。この国家試験は日本のものだけでなく、インド、シンガポール、韓国、中国、フィリピン、ベトナムなどで、法務大臣が指定した国家試験の合格者も対象です。

#### (2)「人文知識」

「人文知識」は事務系の仕事を行うための在留資格で、大学や専門学校で専攻した経済学や経営学、法学などの知識を必要とする仕事につくときの資格です。また、大学などを卒業してなくても、申請する業務内容に関係ある仕事を10年以上行ってきた人も申請できます。問題は、専攻した科目の知識が生かせる仕事かどうかということです。大学等を卒業しなくてもできる簡単な仕事では、就労資格は許可されません。給料は日本人と同じかそれ以上です。

#### (3)「国際業務」

「国際業務」は外国人の考え方が必要な仕事をするための資格です。一番知られているのが翻訳・通訳です。翻訳・通訳、語学指導の仕事をする場合は、大学卒業以上の外国人であれば就労資格への変更が認められます。ただし、本当に翻訳・通訳の仕事が多い会社でないと、翻訳・通訳だけでは許可にはなりません。

また、3年以上の仕事の経験があれば、翻訳・通訳、広報、宣伝、ファッションや室内などのデザイン、商品開発などの仕事で許可されます。給料はやはり日本人と同じかそれ以上です。

### 必要書類 「技術・人文知識・国際業務」では顔写真のほか、

- ① 上場会社は会社四季報のコピー。保険業を営む相互会社は、その証明書コピー。専門士については、その証明書
- ② 前年分の職員の給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表で、源泉徴収額の合計が1,500万円以上の企業は、そのコピー。専門士については、その証明書
- ③ ①②にあてはまらない場合は、前年分の職員の給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表のコピーのほか、次の書類が必要です。雇用契約書、履歴書、大学等の卒業証明書または専門士の証明書、履歴事項全部証明書、会社案内、決算書などです。仕事の内容が分かりにくい場合は、職務内容説明書も必要となります。新設の会社では、これ以外にも必要な書類があります。

### 「経営・管理」の在留資格について

「経営・管理」は外国人が会社の経営や管理を行うための在留資格です。これからは始める場合が一番大事なことは、日本でどんな事業を行うのかということです。事業の内容については、ほとんどのものが許可されます。その事業内容がしっかりしていれば、この資格を考えることもできます。資本金は外国人が出資したものでなくてもかまわないことになっていますが、日本人や永住者などの従業員を2人以上採用して行う規模のものか、資本金が500万円以上の会社であることが必要です。個人で行う場合も同じとなります。どれだけお金があれば自分の考える事業ができるかということから計画してください。

## Q 卒業後も引き続き就職活動をしたい場合はどうすればいいですか。

大学や専門学校を卒業予定(専門学校生は「専門士」を得ていること)の外国人が、卒業前から行っていた就職活動を卒業後も続けてする場合(継続就職活動という)は、大学等からの推薦状、卒業証明書、生活費の証明などを提出し、在留資格「特定活動」への変更許可申請をします。これが許可されると6か月の継続就職活動が行えます。この間、資格外活動許可を受けることで、週28時間までのアルバイトも可能です。

## Q 調理師免許を取った場合は、日本の和食店で働くことができますか？

日本の調理師学校を卒業して調理師免許を得た外国人は、日本の和食店で2年間調理の仕事をするため、在留資格「特定活動」を申請することができるようになりました。

## Q 私は転職をしました。仕事の内容は前の会社と違います。在留資格について、何か手続きをする必要がありますか。

転職した場合は、会社を辞めたこと、また新しい会社に入社したことを、その日から14日以内に入国管理局に届ける必要があります。東京入国管理局へ郵送でもよし、インターネットを利用して届出もできます。(入国管理局電子届出システム <http://www.immi-moj.go.jp/i-ens/index.html>)。

この届け出をしておかないと、在留期間更新許可申請などのときに問題となることがあります。住所が変わった場合は、市や区役所などへ届けてください。

仕事が変わったということですが、たとえば今の在留資格が「技術・人文知識・国際業務」であり、今までは「経理」の仕事をしていたのが、会社が変わって「英会話の講師」を行うことになった場合は、在留資格は今までと同じ「技術・人文知識・国際業務」の範囲です。そこで在留期間更新許可申請のときまで、何もしなくても問題とはなりません。ただし会社が変わった場合は、在留期間更新許可申請のときに、新しい会社について、またその会社での仕事の内容などの審査もあります。もし心配なら「就労資格証明書」の交付申請を行い、新しい会社で在留期間更新が許可されるかを審査してもらうこともできます。「専門士」を得ているから在留資格が許可されている場合は、専門学校で専攻した内容に関連する仕事であるかにも注意する必要があります。

会社が変わって、「技術・人文知識・国際業務」の範囲にはない仕事をするようになった場合は、在留資格の変更許可申請をしてください。

仕事の内容が変わる場合は、その仕事をするということについて、法律が定める条件が自分にあてはまるのかについて検討する必要があります。

## Q 企業から内定をもらいました。ビザの変更のために、いつ頃何をすればいいでしょうか。

「留学」から就労資格への変更許可申請は、12月から行うことができます。必要書類を揃えて、申請してください。

## Q ビザが取りにくい業界や職種があると聞いたことがありますが、実情はどうなのでしょう。また申請の仕方によっては、確実にビザが取れるのでしょうか。

特に業界や業種と関係があるとは思いません。それよりも仕事の内容です。大学の卒業生や「専門士」でなくてもできるような仕事の内容ですと、許可されにくいでしょう。

また申請の仕方については、求められている書類をそろえるとともに、分かりにくい仕事の内容の場合は、分かりやすく説明した書類をつけることなども必要です。

## Q 在留資格「技術・人文知識・国際業務」を許可されれば、時間のある時に仕事以外のアルバイトをしてもいいですか。

アルバイトをする場合にはアルバイト許可(資格外活動許可)を申請してください。これは留学生のときにも必要でした。ただ、留学生のときは、ほとんどのアルバイトができましたが、「技術・人文知識・国際業務」など、就労資格が許可されている人は、就労資格が許可される在留資格の活動範囲内でのアルバイトしか許可されません。「留学」なら飲食店の店員のアルバイトなどもできましたが、「技術・人文知識・国際業務」だとこのアルバイトは許可されないと思います。

## Q 入国管理局への申請を行政書士に頼むと、私は入国管理局に行かなくてよいのですか。

そうです。私たちが代わって申請します。私たちは、あなたが日本でどんな生活をしたのかについて相談に乗ります。どんな在留資格が必要か、そのためにはどうすればよいのかななどをアドバイスします。また入管に申請することになれば、必要な書類を集め、また書類の作成などもサポートします。

まずはお電話でご相談下さい。

行政書士 森川英一

東京都渋谷区広尾 1-2-5-301 TEL : 03-3447-5311  
E-mail: [info@morikawa-office.jp](mailto:info@morikawa-office.jp) <http://morikawa-office.jp/>